

5 外国人の労働状態について

県内に在住する15歳以上の外国人(16,288人)のうち、労働力人口(就業者及び完全失業者)は10,667人で前回に比べ1,547人、率にして18.4%増加した。

また、15歳以上外国人就業者(9,808人)について、産業分類別の割合を見ると、「第2次産業」が52.6%と最も高く、「第3次産業」が45.7%、「第1次産業」が1.8%となっている。

### 外国人の労働力状態

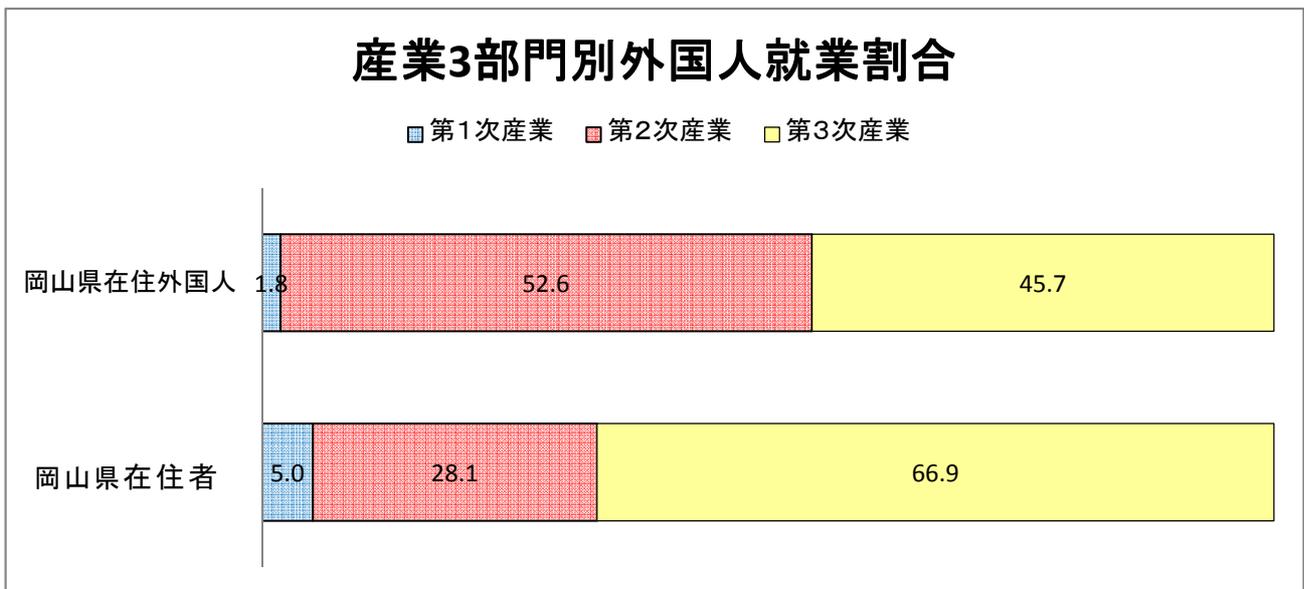
(単位:人)

	平成22年(2010)			平成17年(2005)			総数 増減率
	総数	男	女	総数	男	女	
県在住外国人人口 1)	18,476	7,912	10,564	14,796	6,247	8,549	24.9%
15歳以上外国人	16,288	6,680	9,608	13,762	5,735	8,027	18.4%
労働力人口	10,667	4,761	5,906	9,120	4,296	4,824	17.0%
就業者	9,808	4,262	5,546	8,657	4,051	4,606	13.3%
完全失業者	859	499	360	463	245	218	85.5%
非労働力人口	5,139	1,701	3,438	4,270	1,244	3,026	20.4%
労働力状態不詳	482	218	264	372	195	177	29.6%
労働力率 2)	67.5%	73.7%	63.2%	68.1%	77.5%	61.5%	-0.9%

1) 年齢「不詳」を含む。 2) 労働力状態「不詳」を除く。

### 産業3部門別外国人就業割合

■ 第1次産業 ■ 第2次産業 ■ 第3次産業



(注) 産業3部門別の割合は、国の計算方法の変更に基づき、分母から「分類不能の産業」を除いて計算している。